※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　（学）教育科

教科	（学）教育	科目	教育と心理	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「教育と心理」は総合学科ならではの特色ある科目です。発達心理学に関する知識を幅広く修得し、教育に対する様々な考え方に興味・関心をもちましょう。
・「教育と心理」は後期科目のため１日に２コマ分の授業を行います。
・「教育と心理」では、１つのテーマに対してお互いに意見を述べたり、グループで議論したり、考えたことをレポートにまとめ発表するといったプロジェクト型の学習を行います。
・アサーティブトレーニング、ソーシャルスキルトレーニングの実践をします。積極的に取り組んでください。
・発達心理学に関する内容について興味のある分野を調べてまとめる課題を定期的に提出してもらいます。根気強く取り組んでください。
・授業中のプリントの記入においては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。枠外にあるメモ欄に授業で取り扱った内容について自ら考えたことや気になった点を記入してください。

2　学習の到達目標

発達心理学の基本概念を学習し基礎知識の習得を目標とする。
（１）理論的な学習にとどまらず、学校における様々な問題について心理学の立場からはどのように考えられるのかを理解できるようにする。
（２）人間が発達していくプロセスを理解し、学校での教育や学習において生じる問題について考察を深めることで、発達心理学の視点から現代社会の抱える課題を解決する力を養う。
（３）適切な自己表現・集団のコンセンサス形成等についての理解を深め、教育関係の進路を実現するために主体的かつ協働的に学習に取り組む態度を身に付けている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	アサーションの概念・集団の機能や集団内のメカニズム・ソーシャルスキルの基本事項といった発達心理学における基本的な知識とその意味を理解する。	既習の技法を用いて、自己の生い立ち・自己の未来について洞察を深め、教育者としての倫理観を形成し、適切な自己の感情・自己概念を表現できる。	アサーティブトレーニング・ブリーフセラピーの実践・ソーシャルスキルトレーニングの実践といった他者との関わりの中で、他者への配慮を意識した積極的自己主張ができ、互いの良さを認め合いながら課題を解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月 ～ 2月	成長と人間関係	**1. 乳幼児期** **2. 児童期** **3. 青年期**	a:発達心理学の基礎知識を修得し、発達段階と発達課題を整理することを通して、認知発達を踏まえた学習指導の在り方について理解を深めている。 b:自己の生い立ちについて振り返る中で教育における発達理解の意義を理解し、教育活動に生かすアイデアを積極的に議論している。	ワークシート	ワークシート 観察	
		4. 豊かなコミュニケーション **5. 人格と適応**	a:自己の感情の取り扱いや自己概念についての考察を深めるとともに、発達における気質・性格・人格の役割を理解し、環境に適応するための知識や技能を身に付けている。 c:アサーティブトレーニング、ブリーフセラピー実践に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを認め合いながら、よりよい教育活動に必要なコミュニケーションの在り方を探究している。	定期考査		ワークシート 観察
	集団と人間関係	1. 集団の機能 2. 協調と競争 3. 合意形成 4. 自我と自己 5. 事例研究	a:集団の機能や集団内のメカニズムに関する基本的な知識を習得し、児童生徒等の個性と個人差を把握する意義に気づき、学習指導における個別指導や集団指導等の役割について理解を深めている。 b: 集団決定・合意形成に関わるワークショップを通して、集団内での自己の役割について洞察を深め、教育者としての倫理観を形成し、自己の感情や自己概念を適切に表現するとともに、学習に関連する情報を自ら集め、整理・分析している。 c:事例研究から教育の抱える現代特有の問題背景への理解を深め、ソーシャルスキルトレーニングの実践に主体的・協働的に取り組み、教育の諸問題を解決しようとする態度を身に付けている。	定期考査	定期考査 レポート	観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度